製造者情報	会社名	三菱レイヨン株式会社
	住所	〒108-8506東京都港区港南1-6-41（品川クリスタルスクエア）
	担当部門	化成品・樹脂技術統括室　（担当者：井上雅勇）
	電話番号	03-5495-3067
	FAX番号	03-5495-3189
整理番号	ＡＬ-01	

製品名（化学名、商品名）	メタクリル樹脂板 アクリライト(R)Ｓ、アクリライト(R)Ｌ、アクリライト(R)MR、 アクリフィルター(R)NG、アクリフィルター(R)MR-NG	
物質の特定	単一製品・混合物の区別	単一製品（化合物）
	化学名	ポリメタクリル酸メチル／メタクリル酸メチル
	成分及び含有量	98%以上／2%以下
	構造式	（$C_5H_8O_2$）x／$C_5H_8O_2$
	官報公示整理番号	（6）-1188／(2)-1036（化審法、安衛法）
	CAS　NO.	9011-14-7／80-62-6
	国連分類　及び国連番号	該当しない／1247

製品名（化学名・商品名）	メタクリル樹脂板 アクリライト(R)Ｅ、アクリライト(R)EX	
物質の特定	単一製品・混合物の区別	単一製品（化合物）
	化学名	メタクリル酸メチル、アクリル酸エステル共重合体
	成分及び含有量	90%以上／10%以下
	構造式	（$C_5H_8O_2$）x/（$C_4H_6O_2$）y,（$C_7H_{12}O_2$）z
	官報公示整理番号	（6）-553（化審法、安衛法）
	CAS　NO.	25852-37-3
	国連分類　及び国連番号	該当しない

危険有害性の分類	分類基準に該当しない	
応急措置	目に入った場合	板の切粉が目に入った場合は、眼球を傷つけるおそれがあるので、手でこすらずに清浄な水で洗い流す。異物が目に残るようであれば、眼科医の診断を受ける。
	飲み込んだ場合	経口毒性は低いが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるのであれば医師の診断を受ける。
火災時の措置	消火方法	一般火災と同様の消火方法が有効である。なお、燃焼時には有害なガス（一酸化炭素やメタクリル酸メチルなど）が発生する場合もあるので、消火作業は風上から、あるいは空気呼吸器を着用して行う。
	消火剤	水、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス消火器
漏出時の措置	回収する。	
取扱い及び保管上の注意	取扱い	（1）持ち運ぶ時に、板の角や端面で手などを切らないよう注意する。 （2）板を摩擦したり保護紙を剥がす時、静電気が発生する可能性があるので静電気災害に注意する。 （3）加工時は、切粉が目に入ったり、吸い込んだりしない様に注意する。 （4）常温で引火のおそれはないが、可燃物なので、火気を近付けないようにする。
	保管	熱、発火源から離れ、直射日光の当たらない場所で保管する。水漏れが無く、湿度の高くないところで保管する。
暴露防止措置	管理濃度	設定されていない。
	設備対策	粉塵を発生する場合には、適切な局所排気装置が必要である。
	保護具	大きな板を持ち運ぶ場合、滑り止め付きの保護手袋などを着用する。 粉塵の吸入を避けるため、防塵マスクを着用する。 粉塵が目に入るのを避けるため、保護メガネを着用する。
物理・化学的性質	外観等	板状
	比重	1.19
	発揮	なし
	融点	明確な融点は存在しないが、約100℃以上の広い温度範囲で次第に軟化する。
	溶解度	水に不溶
危険性情報（安全性・反応性）	発火点	400℃以上
	可燃性	可燃性物質であり、着火源があれば燃える。
	熱分解性	約300℃以上に加熱されると、メチルメタクリレートモノマーが発生する。このガスの毒性は低いが、目や呼吸器官を刺激し、めまい、吐き気、頭痛などの不快な症状を引き起こすことがある。
	安定性	常温常圧で安定です。
有害性情報	生体学的には不活性であり、生体への作用は通常ない。	
環境影響情報	知見なし（生分解性はないと考えられる）	
廃棄上の注意	法及び地区の条例に従って、焼却又は埋立て処理する。焼却する場合は、焼却設備を用いて、法令等に従って行う。ポリメチルメタクリレート燃焼エネルギー値：6265cal/kg	

AL-01

輸送上の注意	梱包体が破れないように、水漏れや乱暴な扱いをしない
適用法令	消防法　指定可燃物-合成樹脂類（3000kg以上）

その他（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

（注）上記の情報は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご使用ください。